



JSPEは全米PE協会の海外提携機関です

日本プロフェッショナルエンジニア協会 (JSPE)
第296回(神戸・東京) 鬼金 CPD セミナ
-/296th Onikin CPD Seminar

【開催案内】

開催日程：2017/10/14 (土) 13:00-16:15

参加費：3,000円(JSPE会員)、5,000円(非会員)

講師：西久保 東功 PE, PMP & Ph-D, JSPE 理事

Tokoh Nishikubo, PE, PMP & Ph-D, Director of JSPE

副講師：森山 亮 PE, PMP & Ph-D, JSPE 理事

Ryo Moriyama, PE, PMP & Ph-D, Director of JSPE

CPD&PDU：3PDH および 3PDU or 3 Contact hours を提供

提供 PDU：3.0 Hr (Leadership 1.0 Hr, Technical 1.0 Hr, Strategic 1.0 Hr)

講演題名：組み込みソフトウェア開発におけるプロジェクトマネジメントと教訓

英語タイトル：Project Management Practices and Its Lessons Learned in the Field of Embedded Software Development

講演概要：皆さんはソフトウェア開発に対してどのようなイメージを持たれているでしょうか。ハードウェアのトラブルをケアしてくれる便利なイメージを持たれている方もいることでしょう。しかしながら、設計したソフトウェアの品質について考えると、ハードウェアの視点と大きく異なります。破壊を起点とした、すなわち問題を起こすことで性能判断が可能なハードウェアと異なり、ソフトウェアは如何なる場合でも不具合を起こすことなく動作することが求められます。故に、問題のないことを証明しなければなりません。この視点に立った時、簡単に変更できるプログラムのコード1行をどのように修正するかまで注意を払う必要があり、容易な変更はできないといえます。

製品開発の視点に立つと、ハードウェアの特性を十分理解できていなかったため、ソフトウェアの仕様に漏れがあり、結果として手戻りが発生したことも多いように思います。この逆のケースも当然あります。以上の内容をふまえ、講義では、以下の内容に焦点をあて議論を行います。

- ①ソフトウェア設計者の視点を理解するためには、どのような考え方を把握すべきか
- ②組み込みソフトウェア開発のトラブル事例に沿って、それを回避するためにはどのようなアプローチが必要であったか

【実施報告】

参加：<神戸>9名(PE7名、PEN2名)

<東京>16名(PE13名、PEN2名、FE1名)

10月14日(土)に鬼金CPD 2017「Project Cases practiced by Professional Engineers and PMBOK® Guide-3」(1858 JSPE2017-1)の第3講「組み込みシステム開発におけるプロジェクトマネジメント

と教訓」を行いました。神戸会場において JSPE 理事の西久保東功が講師を務め、サテライトの東京会場（副講師：稲葉理事）と連携する形で実施しました。

今回は講師が携わってきたモータ駆動技術における経験から、ソフトウェアとハードウェアの連携強化にターゲットを当て、解説が行われました。

演習では、小型ロボットアーム開発を事例にして、ソフトウェアとハードウェアの仕様設定、仕様変更などについて、グループに分かれ討議を行い、発表を行いました。



神戸会場の様子



東京会場の様子



グループディスカッションの様子（東京会場）

PMBOK は、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

JSPE 鬼金分会